

令和2年9月定例会 議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」=賛成 「×」=反対 「―」=退席

※議長は表決に加わらないため、「/」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)														公明党 (4人)			社会民主党 議員会 (3人)			日本 共産党 (2人)		会派 誠政 (2人)		政策フォー ラム32 (2人)		光 (1人)	創政 改拓 (1人)	自民ク ラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)							
				久 保 大 憲	松 井 邦 人	金 谷 幸 則	泉 英 之	竹 田 勝	舎 川 智 也 (議長)	押 田 大 祐	江 西 照 康	高 田 真 里	高 道 秋 彦	成 田 光 雄	横 野 昭	金 厚 有 豊	鋪 田 博 紀	高 田 重 信	村 家 博	有 澤 守	柞 山 数 男	松 尾 茂	松 井 桂 将	佐 藤 則 寿	堀 江 かず 代	岡 部 享	東 篤	村 石 篤	小 西 直 樹	赤 星 ゆ かり	尾 上 一 彦	橋 本 雅 雄	金 井 毅 俊	大 島 満	上 野 蛍	木 下 章 広	村 上 和 久	五 本 幸 正	高 見 隆 夫		
議案第121号	令和2年度富山市一般会計補正予算(第4号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第122号	令和2年度富山市まちなか診療所事業特別会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第123号	令和2年度富山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第124号	令和2年度富山市企業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第125号	令和2年度富山市白樺ハイツ事業特別会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第126号	令和2年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第127号	令和2年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	令和2年度富山市水道事業会計補正予算(第1号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	令和2年度富山市病院事業会計補正予算(第2号)	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	富山市の議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	富山市市税条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	富山市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	富山市斎場条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	富山で働き・学ぶ生き方応援奨学基金条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	富山市白樺ハイツ条例を廃止する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	富山市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	富山市プールバール広場等条例制定の件	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第138号	委託契約締結の件(校内通信ネットワーク等整備業務委託(第1ブロック))	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第139号	委託契約締結の件(校内通信ネットワーク等整備業務委託(第2ブロック))	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第140号	委託契約締結の件(校内通信ネットワーク等整備業務委託(第3ブロック))	9/28	原案可決	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【市長提出議案③】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)														公明党 (4人)			社会民主党 議員会 (3人)			日本 共産党 (2人)		会派 誠政 (2人)		政策フォー ラム32 (2人)		光 (1人)	創政 改拓 (1人)	自民ク ラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)	
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	竹田 勝	舎川 智也 (議長)	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村家 博	有澤 守	柞山 数男	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江 かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星 ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	金井 毅俊	大島 満	上野 蛍
認定第1号	令和元年度富山市一般会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第2号	令和元年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第3号	令和元年度富山市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第4号	令和元年度富山市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第5号	令和元年度富山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第6号	令和元年度富山市まちなか診療所事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第7号	令和元年度富山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第8号	令和元年度富山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第9号	令和元年度富山市企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第10号	令和元年度富山市白樺ハイツ事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第11号	令和元年度富山市牛岳温泉健康センター事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第12号	令和元年度富山市牛岳温泉スキー場事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第13号	令和元年度富山市競輪事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第14号	令和元年度富山市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第15号	令和元年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第16号	令和元年度富山市軌道整備事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第17号	令和元年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計歳入歳出決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第18号	令和元年度富山市水道事業会計決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第19号	令和元年度富山市工業用水道事業会計決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第20号	令和元年度富山市公共下水道事業会計決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															
認定第21号	令和元年度富山市病院事業会計決算	9/28	継続審査	予算決算委員会に付託の上、全会一致で「継続審査」を議決																															

【議員提出議案】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)															公明党 (4人)			社会民主党 議員会 (3人)			日本共産党 (2人)		会派 誠政 (2人)		政策フォーラム32 (2人)		光 (1人)	創政 改拓 (1人)	自民ク ラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)				
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舍川智也 (議長)	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	祚山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	金井 毅俊	大島 満	上野 螢	木下 章広	村上 和久	五本 幸正	高見 隆夫
議員提出議案 第16号	木下章広君に対する議員辞職勧告決議	9/4	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第17号	富山市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例 制定の件 (反対討論要旨／社会民主党議員会 村石議員) 富山市議会の議員定数38人(人口約41万人)は、長野市議会39人(人口約37万人)、金沢市議会38人(人口約46万人)と比較して多いとは言えない。富山市議会では、これまで議員定数を削減してきたが、そのたびに投票率は低下してきている。その結果、有権者の少ない地域から立候補できないことになったり、住民の市議会に対する関心が低くなりしている。議員定数を減らせば、行政組織をチェックする力が低下することになる。今、富山市の課題は、少子超高齢化への対応、市立小・中学校の統廃合、雇用の確保、生活環境の充実・整備などである。市議会は、限られた予算をどのように配分しているかチェックする必要がある。このような役割を担う議員を、38人から36人に減らせば、行政組織をチェックする力が低下することになる。 (賛成討論要旨／政策フォーラム32 金井議員) 新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中の経済活動が一時停止をしたことにより来年度の税収は厳しく、失業問題や雇用問題が回復するにはかなりの時間がかかる。それでも消費税をはじめとする税金の負担は市民にお願いしなければならない。我が国では、国民に増税をお願いする場合には、臨時行政調査会の答申を受けて様々な行政改革行ってきた。それは、公社の民営化だったり、省庁の再編だったり、衆議院議員の定数の削減である。富山市においては、コロナ禍のもとで期末手当を市長が全額、その他の特別職は半額、議員は1割を減額したのは、何かの根拠があった訳ではなく、納税者である市民との信頼関係を構築するための分り易い一つの施策だったと考える。さらなる議会改革として議員定数を2名減らすべきである。 (賛成討論要旨／自民クラブ 村上議員) 議員は、施策の検証や政策の提案、市民の要望に応えるための広聴活動や調査研究、視察、研修、検討、討論等、多忙を極め、とても38人では足りないから、定数を増やすべきだという提案があっても良く、これが議会改革の一つの方向性となることも健全な姿であるが私は考えるが、現実は、委員会視察の中止、少数意見の封殺、政務活動費の運用姿貌、他会派の誹謗が見受けられ、議会改革には程遠い。 私は、議員定数は28が最適だと考える。そうすると、委員会の定数は7人で質疑、討論、採決することになり、少数精鋭による活発な議論が展開される場面が想像される。 本議会は当選2回以下の議員が多く、論議展開による熟議の議会へ成長することが可能であり、その契機とするため、定数を削減する本案に賛成する。	9/28	否決	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
議員提出議案 第18号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	9/28	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第19号	地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書	9/28	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第20号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書	9/28	否決	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

【請願①】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)																		公明党 (4人)				社会民主党 議員会 (3人)			日本共産党 (2人)		会派誠政 (2人)		政策フォーラム32 (2人)		光 (1人)	創政改拓 (1人)	自民クラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)				
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也 (議長)	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	金井毅俊	大島満	上野螢	木下章広	村上和久	五本幸正	高見隆夫				
令和2年分請願第2号	委員会中継のネット配信を求める請願 (賛成討論要旨／日本共産党 赤星議員) 改めて採択を強く訴える。議会運営委員会では不採択の理由として本会議のネット中継のアクセス数減少を挙げたが理由にならない。時期尚早の意見もあったが新型コロナウイルス感染拡大の大きな情勢変化を受け時期はどうにきている。どこにいても市民がネットで議会を観られることが求められる。導入コストに約858万円、運営費に年間約233万2千円という見積りだが、上越市議会では導入に約93万円、配信はYouTubeでインターネット使用料ぐらいとのこと。富山県議会の試行経費は録画・配信半年分で64万円とのこと。大きな改修や経費の伴わない方法を研究して行うべき。6月議会で継続審査にしてから3ヶ月、このような調査研究をなぜ直ちに取組まなかったのか。請願人が「耐えられない」と申し出た請願取下げを否決してまで、この度の「不採択」はあまりにも理不尽である。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×					
令和2年分請願第3号	富山市議会議員の定数を削減することを求める請願 (反対討論要旨／日本共産党 赤星議員) 改選から3年半。架空請求など政務活動費の過去の不正が未決着で、新たに発覚しても辞めない、新たに議員が罪を犯す、辞職勧告しても居座り、「自浄能力がない」と言われても仕方がなく残念である。改選後も、議会基本条例を作らない、委員会ネット中継もしない、議会報告会や市民との意見交換会もない、議会全体としての働きぶりが市民に見える姿勢になっていないことが問題と考える。定数削減の請願や陳情が出されたことを重く受け止め、過去の不正を一掃し、真の反省に立った、市民に開かれた議会改革を進めるしかない。改革と定数削減とは別物で、有権者がちゃんと市民のために働く人を見極めて入れ替えができるように選挙がある。議員定数削減は、組織力や資金力を持たない新人、若者や女性、人口の少ない地域など、多様な候補者が当選できる可能性を狭めてしまう。 (賛成討論要旨／政策フォーラム32 金井議員) 現在の富山市議会は、2名の欠員になっているが、私には支障があったとは思えない。過去にも病氣や県政を目指すなど定数に達しない期間が多々あったが、どれだけの不都合があったのであろうか。一般的な議員定数の根拠としては、人口や面積の対比、同規模他都市との比較だが、請願者は、富山市議会の失われた名譽と信頼を回復するために、議会全体の姿勢として、市民から一番分かり易い定数の削減を議論してほしいというものである。今後訪れる人口減少社会の議会は、議員個人の活動も大切だが、中山間地域の問題など議会全体で取り組むなど「議会の質」が大切である。それ故に、議員として、議員定数や報酬の考えは常に持つべきで、我が会派は、各部門別常任委員会の委員定数を8名とすると議員定数32名であることから、本請願に賛成する。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○

【請願②】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)														公明党 (4人)			社会民主党 議員会 (3人)			日本共産党 (2人)		会派誠政 (2人)		政策フォーラム32 (2人)		光 (1人)	創政改拓 (1人)	自民クラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)			
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也 (議長)	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	柞山数男	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	金井毅俊	大島満	上野螢	木下章広	村上和久
令和2年分請願第4号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書の採択を求める請願 <small>(賛成討論委員／日本共産党 小西直樹)</small> この請願は私が昨年6月議会の一般質問で市の補助を求めたものと同様だ。日本の65歳以上の高齢者は3,617万人で総人口比28.7%だ。加齢性難聴は日常生活を不便にし、生活の質を落とし、鬱や認知症の原因になると指摘がある。難聴は65歳から急激に増える。日本補聴器工業会では難聴者は推計1,430万人で、補聴器の使用者は210万人にすぎない。欧米では難聴を「医療」としてとらえ補助制度はあるが、日本は「障害者」のカテゴリでとらえて、補聴器所有率が圧倒的に低い。補聴器は精密機械で個人に合わせるために片耳当たり5万円～20万円で高額だ。低所得・生活保護者に負担が大きく、諦めることになっている。全国の自治体で購入補助や現物支給の制度が増えている。目的は「高齢者の生きがいがいい生活支援・社会参加」であり、請願に賛成する。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
令和2年分請願第5号	コロナ禍からのちと暮らしを守る年金支給の改善をめざす意見書の採択を求める請願 <small>(賛成討論委員／日本共産党 小西直樹)</small> 消費税増税と新型コロナウイルス感染症による、消費不況と経済活動の低下で失業者や倒産が増加している。その中で高齢者の生活を守る年金は「マクロ経済スライド」「キャリアオーバー制」等で安倍政権8年間に実質6.4%引下げられた。加えて来年度から物価と賃金の低い方に年金額を改定する「新改訂ルール」が実施され、毎年のように減額していくことになる。年金生活者は4,000万人、コロナ禍のもとで年金減額は高齢者の生存権を脅かし、消費不況を招き、経済の回復を遅らせる。経済を立て直しにも高齢者の購買力の維持・増進を図ることが必要だ。そのために高額所得者優遇の厚生年金料を見直し保険料収入を1兆円増やし、年金積立金200兆円を活用して年金支給に充当すること、年金減額の諸制度を適用せず、年金支給額の改善を求める請願に賛成する。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
令和2年分請願第6号	コロナ禍による需要の消滅と在庫増の影響から米価下落を阻止するための意見書の提出を求める請願 <small>(賛成討論委員／日本共産党 小西直樹)</small> コロナ禍により外食・学校給食等の需要の消滅で主食米の販売不振で米価市場に深刻な影響を及ぼし、需要実績は前年から22万トン減少、6月末の民間在庫は前年から12万トン増の201万トンだ。昨年度産米の取引価格は関東のコシヒカリは1万2,000円台前半、ひとめぼれ等の銘柄米は1万1,000円台に下落。今年度産米はJAの概算金で東北・新潟・関東産米で700円から1,000円も下落している。富山のコシヒカリは昨年と同じ1万3,000円だが、販売後の概算金との差額精算時に影響が出る事が懸念される。米卸の取引価格はさらに大きく下落しているものもある。政府が価格と需要の責任を放棄したのがコロナ禍で矛盾が一気に拡大した。農業者と地域経済を守るため、国の責任で在庫米を備蓄米として追加買入等、米価下落を止める施策を求める請願に賛成する。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×

【陳情】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)														公明党 (4人)				社会民主党 議員会 (3人)			日本 共産党 (2人)		会派 誠政 (2人)		政策フォー ラム32 (2人)		光 (1人)	創政 改拓 (1人)	自民ク ラブ (1人)	不羈 (1人)	卯月 (1人)						
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	竹田 勝	舎川 (議長) 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村家 博	有澤 守	柝山 数男	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江か ず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆ かり	尾上 一彦	橋本 雅雄	金井 毅俊	大島 満	上野 蛍	木下 章広	村上 和久	五本 幸正	高見 隆夫		
令和2年分 陳情第16号	道の駅らしき施設に関する陳情	9/28	不採択	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
令和2年分 陳情第19号	議員定数削減を求める条例改正の陳情 <small>(反対討論要旨／日本共産党 赤星議員)</small> 議会改革を求める気持ちを感じざるが、そのためには議員定数削減には反対である。定数削減は行政への批判監視能力の低下をもたらす最終的には住民自身がマイナスを受ける。地方自治法に基づく地域自治・地域協議会を議員提案し過半数で可決できるような多様な議員を出せる枠を狭めることは、皆さんの願い実現をさらに遠のけてしまう。議会報告会や市民との意見交換会実施も多数の合意に至ってならず、議会全体としての「働きぶりが見えない」と言われるのはよく分かる。議会基本条例を作り、市民と直に対話する仕組みを作るべき。この3年半、議会基本条例、政務活動費や政治倫理条例など議会改革を進める請願や陳情がいくつも出されたが一つも採択ない。今回の陳情には議会運営委員会で意見もなかった。市民からの意見、提言に、もっと真摯に、丁寧に向き合うべきだ。 <small>(賛成討論要旨／政策フォーラム32 大島議員)</small> 陳情者は、議会や委員会の傍聴、請願の提出、議員と市民の懇談会の開催など活発にしていたが、自分たちが選んだ議員に対する大きな期待から、嘆きにそして失望を感じるようになった。市民が感じている普通の感覚と議員の言動の落差に、議員を選んだ市民としての責任を強く感じ、議員定数の削減を求めている。議員を減らすべきではない、市当局に対して物が言える議員がいなくなる、自分達の声が届かなくなると反対する方も多い。しかし一度なったらやめさせようと思って自らやめられない限りです。居座り続ける現実とさらに現在の経済状況や今後の見通しに対し、市民感覚とはかけ離れていることを嘆き、議員の削減をもってしか議会の改革はないと感じる。議員を削減した代わりに各地域協議会を提案し、議員がいない地域に議員個人や特定政党ではな、議会として対応すべき。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
令和2年分 陳情第20号	富山市立小・中学校教諭の過酷な超過勤務は正に関する陳情 <small>(賛成討論要旨／日本共産党 赤星議員)</small> 陳情書に添付された資料では、昨年の市立中学校26校の4月の超過勤務の平均が90時間を超えていた学校が6校あり、もっとも多いところでは110時間を上回っていたことが分かる。その後の調査では「持ち帰り」仕事の時間も多くなっているとお話もあった。全体には超過勤務は減少傾向とのことで市教育委員会としても様々な方法を取り入れ教職員の働き方改革に努力されているが、今回全体の平均で分からなかった個別の状態が分かり、子どもたちを守る先生方の健康が本心に心配になる。根本的には教員を増やすしかないと議会としても当局と一緒に県や国に強く求めていかねばならないが、市教育委員会におかれては引き続き個別具体的な調査を行い、市民と議会にも明らかにすることでともに改善策を探っていくことが必要と思うことから、この陳情を採択すべき。	9/28	不採択	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字程度にまとめたものを掲載しています。(討論の掲載順は実際の発言順としています。)
 ※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の9月4日及び9月28日開催の本会議分、または、「令和2年9月富山市議会定例会会議録」(令和2年11月下旬発行予定)にて、ご確認ください。